

東京都立若葉総合高等学校 平成29年度 教科:「公民」科目:「現代社会」 年間授業計画

教科:公民 科目:現代社会 単位数:2単位

対象学年組:(第1学年A組~F組)

教科担当者:(小森:1A)(堀:1B)(小森:1C)(堀:1D)(小森:1E)(堀:1F)

使用教科書:(最新現代社会(実教出版))

使用教材:(最新図説現社(浜島書店))

	指導内容	科目「現代社会」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月	第2部 現代の社会と人間 2. 現代民主政治と日本国憲法 ・日本の政治機構と政治参加 ・民主政治の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> 政治参加の重要性と民主社会において、自ら生きる倫理について自覚を深めさせ、主権者としての意識を身に付ける。 政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め、主権者としての意識を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代政治への関心が高まり、主権者意識が身に付いている。 主権者として憲法成立過程と基本的人権、平和主義の内容を意欲的に追求しようとしている。 	
5月	第2部 現代の社会と人間 2. 現代民主政治と日本国憲法 ・法の支配 ・民主政治のしくみ ・世界の政治制度 ・日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治における個人と国家について考察する。 政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め、主権者としての意識を身に付ける。 日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障、平和主義について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権問題、安全保障を多面的・多角的に考察し、結果と根拠を様々な方法で表現している。 人権や安全保障の時事的な自称を収集し、適切に活用できる。 	
6月	第2部 現代の社会と人間 2. 現代民主政治と日本国憲法 ・日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障、平和主義について理解を深める。 生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察する。 日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。 日本の行政、立法、司法制度について理解を深める。 民主政治における個人と国家について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 憲法が普遍性を持つこと気づき、人権が生まれながらの権利であること、他者の権利の尊重を理解、知識を身に付けている。 平和主義、安全保障について理解、その知識を身に付ける 	
7月	第2部 現代の社会と人間 2. 現代民主政治と日本国憲法 ・日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治における個人と国家について考察する。 法や規範の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 地方自治の意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 政治について考察し、政治の在り方を公正に判断し、その結果を適切に表現している。 主権者として判断に必要な情報を適切に選択し、活用している。 日本の政治制度について理解し、その知識を身に付けている。 	
9月	第1部 わたしたちの生きる社会 1. 地球環境問題 2. 資源・エネルギー問題 3. 生命科学と情報技術の課題	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における諸課題、特に生命、情報、環境を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤としての幸福、正義、公正などの枠組みについて理解する。 生命、情報、環境などを中心に現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 生命、情報、環境などを中心とした現代の諸課題をどのように解決するのか、どうあるべきか、自分なりの考えを持つ。 生涯における青年期の意義を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の諸課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。 現代社会の諸課題について、幸福、正義、公正などの観点から多面的多角的に考察し、いかに生きるかについて公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 諸資料をメディアを通して収集し、効果的に活用している。 	

	指導内容	科目「現代社会」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
10月	第2部 現代の社会と人間 1. 青年期と自己の形成 ・自分らしく生きる ・人間としてよく生きる ・日本人としての自覚	・自己理解を進め、自己形成の課題を考察し、勤労観・職業観を含め、どのように社会参加を果たしていくのか、など自らの人間としての在り方生き方について考察する。 ・伝統や文化が日常生活に与える影響に着目し、現代社会における青年の生き方について自覚を深める。	・自己形成の課題を意欲的に追究し、自己の生き方について考察しようとしている。 ・自己形成や生き方について、幸福、正義、公正などを用的多面的多角的に考察、その過程や結果を適切に表現している。 ・諸資料をメディアを通して収集し、効果的に活用している。 ・生涯における青年期の意義、社会参加などについて理解し、その知識を身に付	
11月	3. 現代の経済社会と国民生活 ・現代の経済社会 ・日本経済の特質と国民生活	・現代の経済社会の変容について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解させ、市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。 ・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 ・政府の役割と財政、租税、金融について理解を深めさせ、日本の経済政策の方向性を考察する。	・現代の日本経済の動向や雇用・労働、環境、社会保障に対する関心が高まり、経済社会の一員の意識が身についている。 ・経済の特質、経済政策、消費者、労働、社会保障などについて多角的多角的に考察し、様々な立場に立って公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	
12月	3. 現代の経済社会と国民生活 ・日本経済の特質と国民生活	・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の雇用、労働、社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。	・日本経済の課題に関する時事事象の情報を様々なメディアを通して収集している。 ・市場、政府の経済活動、雇用・労働、社会保障、公害などについて理解し、その知識を身に付けている。	
1月	3. 国際社会と人類の課題 ・国際政治の動向 ・国際経済の動向と国際協力	・グローバル化が進展する国際社会の政治の動向を理解する。 ・国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮について理解する。 ・国際社会における日本の果たすべき役割や生き方を考察する。 ・国際社会における貧困や格差について理解する。 ・先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。	・国際政治、国際経済への関心が高まっている。 ・国際政治、国際経済の課題を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・国際政治、国際経済の時事事象の情報を適切に選択し、活用している。 ・国際政治、国際経済を理解し、その知識を身に付けている。	
2月	第3部 共に生きる社会をめざして	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を追求する活動を通して、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。	・持続可能な社会の形成に対する関心を高める。 ・持続可能な社会に参画するという観点の課題を多角的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・課題を探究するのに必要な情報を適切に選択し、効果的に活用している。 ・課題を追究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。	
3月	第3部 共に生きる社会をめざして	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を追求する活動を通して、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。	・持続可能な社会の形成に対する関心を高める。 ・持続可能な社会に参画するという観点の課題を多角的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・課題を探究するのに必要な情報を適切に選択し、効果的に活用している。 ・課題を追究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。	